

# かわぐち消化器内科

## 第19回 大腸ポリープについて



院長 川口 義明

大腸ポリープは大腸にできるできるものです。40歳以降で増加してきます。無症状のことがほとんどですが、肛門に近い直腸にできたポリープでは血便や粘液便が出る場合があります。食生活の欧米化で増加傾向にあり、飲酒、喫煙などが危険因子と考えられています。ポリープは腫瘍性と非腫瘍性に分類され、腫瘍性ポリープに腺腫と腺癌があります。腺腫は癌化する危険があると考えられおり、腺腫と腺癌が治療対象となります。大腸癌は癌死亡数第二位で増加傾向にあります。大腸癌を予防・早期発見・治療するためには、症状がなくても大腸カメラを定期的に受けて頂くことが重要であり、大腸癌の芽であるポリープ(腺腫)を見つけて積極的に切除することが予防の近道です。検査と同時に切除することもできますのでご相談下さい。根が深い癌は内視鏡では切除できない場合もあり、その場合は手術となります。



## かわぐち 消化器内科

TEL **045-830-5311**

港南区港南台5-23-30  
港南台医療モール3F



〔診療時間〕

午前 9:00-12:00  
午後 16:00-18:00

〔休診〕

木曜・日曜・祝日  
(土曜午後)

